

＼ 安倍口こども園で実践！ ／

カブトムシ

を育ててみよう！



カブトムシの基本情報

寿命は約1年。幼虫は9～5月（8カ月）→さなぎは5～6月（1カ月）→羽化・成虫は6～9月（3カ月）
幼虫の期間が長いです！

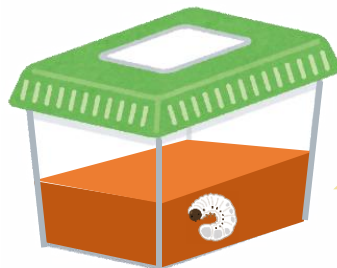
生物多様性おすすめポイント

- ★園庭がなくても飼育できます！
- ★生きものの成長を身近に感じられます！
- ★姿や形が変わることで、生物の多様性を感じられます！



幼虫 9～5月

幼虫は、昆虫マットを食べて成長します。
幼虫の時のエサの量で、成虫の大きさが決まります。



【用意するもの】

- ・昆虫マット（幼虫用）
- ・ケース（衣装ケース、虫かごなど）
- ・霧吹き

※小さめのケースにして、
1人1匹飼うのもオススメです！

お世話のしかた

【1】マットの交換

- ・マットを取り替えるのは、秋に1回、春に1回でOK
- ・フンが溜まってきたら、フンを取り除いてあげましょう。

【2】水分管理

- ・昆虫マットの適度な水分量は、手で握ったときに形が残るくらい。
- ・1日1回霧吹きで水をかけてあげましょう。



オス・メスの見分け方

幼虫のお尻～お腹に「V」の模様があったら、オスの可能性が高いです。

さなぎ 5～6月

成虫になるまで、2週間～1ヶ月ほどかかります。

フンを固めて、蛹室づくりを始めます。

※この期間のマット交換は不要です。

※一度壊れたら作り直せません！

とてもデリケートなので、強い衝撃を与えないようにしましょう。

もし蛹室を壊してしまったら…

トイレットペーパーの芯を、昆虫マットの上に立てて、倒れないように土をかぶせて固定します。その中にさなぎをいれると人工蛹室ができます。



やってみよう！

ペットボトルなどの細い入れ物に幼虫を入れておくと、さなぎの姿を見られるかもしれません！

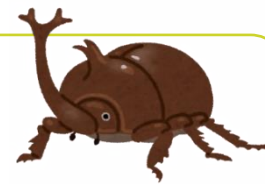
やってみよう！



オスとメスを同じケースに入れておくと、卵を産みます。20～30個の卵を産むので、卵は成虫とは別のケースに移しましょう。卵のケースには昆虫マットを入れておきます。

注意 飼育ケースは直射日光に当てないように！

成虫 6～9月



- ・成虫になったら、自力でマットの上に出てきます。
- ・カブトムシは夜行性です。
- ・持つときは、短いツノを持ったり、体の側面を持つようにしましょう。



硬い？
柔らかい？

お世話のしかた

【1】エサの交換

- ・エサは、昆虫用のゼリーです。
- ・1日、1匹あたり1個を目安にあげましょう。

【2】水分管理

- ・乾燥を嫌うので、1日1回霧吹きをしてあげましょう。



霧吹き

